

プログラム 8月25日(日)

A会場

9:10~10:40 乾癬学会・脊椎関節炎学会 共同スポンサードシンポジウム
【皮膚病変と関節病変を有する疾患への理解を深め、適切な薬剤選択を考える】

座長: 富田 哲也 (森ノ宮医療大保健医療学研究科・看護学)
鶴田 大輔 (大阪公立大)

共同SSY-1 目指すべき治療ゴールから考える最新の乾癬治療戦略
山口 由衣(横浜市立大)

共同SSY-2 IL-23 というサイトカインから考える PsA のドメイン戦略
辻 成佳(日本生命病院リハビリテーション科・整形外科・乾癬センター)

共同SSY-3 掌蹠膿疱症の薬剤選択~患者 QOL と治療満足度向上のために~
石原 陽子(一般財団法人難病治療開発機構)

共催: 日本乾癬学会/日本脊椎関節炎学会/アッヴィ合同会社

11:20~12:20 特別講演 2

座長: 藤本 学 (大阪大)

SL2 Granzyme Serine Proteases : Role in Skin Inflammation and Disease
David J. Granville (Department of Pathology and Laboratory Medicine and ICORD Centre, Vancouver Coastal Health Research Institute, University of British Columbia, Vancouver, BC, Canada)

12:30~13:30 ランチョンセミナー 5
【バイオシミラーによる乾癬の新たな治療選択肢~ウステキヌマブ BS 登場への期待~】

座長: 朝比奈 昭彦 (東京慈恵会医大)

LS5-1 ウステキヌマブ BS 皮下注 45mg シリンジ「F」の有効性、安全性について
熊谷 玲衣奈(富士製薬工業株式会社研究開発本部)

LS5-2 限りある医療費を考慮した乾癬治療とバイオ後続品(バイオシミラー)の在り方とは?
橋本 由起(東邦大)

共催: 富士製薬工業株式会社

13:40~15:40 シンポジウム 3 【生活習慣病と乾癬】

座長: 森実 真 (岡山大)
小宮根 真弓 (自治医大)

SY3-1 生活習慣病が乾癬に与える臨床的影響について
多田 弥生(帝京大)

- SY3-2 乾癬の病態における脂質代謝と酸化ストレス
岸本 恵美(自治医大)
- SY3-3 肥満が乾癬に及ぼす影響～マウスモデルの解析から～
向井 知之(川崎医大)
- SY3-4 栄養代謝と乾癬病態
本田 哲也(浜松医大)

15:40～15:50 閉会の辞・次期会長挨拶

B 会場

8:00～9:00 モーニングセミナー 1 【長期的視点で考える掌蹠膿疱症の治療戦略】

座長:河野 通浩(秋田大)
梅澤 慶紀(東京慈恵会医大)

- MS1-1 掌蹠膿疱症で生物学的製剤を導入すべき患者像
杉浦 一充(藤田医大)
- MS1-2 掌蹠膿疱症の長期的治療における経験に基づくポイント
名嘉真 武國(久留米大)

共催:大鵬薬品工業株式会社/ヤンセンファーマ株式会社

9:10～11:10 シンポジウム 4 【自己炎症性角化症】

座長:杉浦 一充(藤田医大)
金澤 伸雄(兵庫医大)

- SY4-1 AiKDs 総論
武市 拓也(名古屋大)
- SY4-2 GPP の病態と治療に関するアップデート
下村 裕(山口大)
- SY4-3 毛孔性紅色粧糠疹と掌蹠角化症～最新のトピックス～
赤坂 英二郎(弘前大)
- SY4-4 自己炎症性角化症としての化膿性汗腺炎
乃村 俊史(筑波大)

12:30~13:30

ランチョンセミナー 6

【発売3年からみえたドボベット®フォームの可能性】

座長:五十嵐 敦之 (いがらし皮膚科東五反田)
渡邊 玲 (順天堂大)

LS6-1 ドボベット®フォームの今後を考えるー多様化する病態理解と尋常性乾癬治療ー
柴田 彩(東京大)

LS6-2 乾癬治療:ドボベット®フォームと光線療法について考える
鎌田 昌洋(帝京大)

共催:レオ ファーマ株式会社/協和キリン株式会社

13:40~15:40

スポンサードシンポジウム

【炎症性皮膚疾患における免疫学的病態とこれからの治療戦略】

座長:大槻 マミ太郎 (自治医大)
森田 明理 (名古屋市立大)

SSY-1 乾癬の目指すべき治療ゴール
鶴田 紀子(北九州市立八幡病院)

SSY-2 令和時代に目指すべき乾癬性関節炎の早期診断と治療ゴール
~医師達のPsAに対する強みと弱みに迫る~
三崎 健太(北播磨総合医療センターリウマチ・膠原病内科)

SSY-3 The Molecular Pathogenesis of Psoriasis and Psoriatic Arthritis : Immune Mechanisms and the Role of IL-17 Isoforms.
John Frew (Department of Dermatology, University of New South Wales)

共催:ユーシービージャパン株式会社 メディカルアフェアーズ本部

C会場

9:10~10:40

乾癬教育プログラム J-PEARLS®

【基礎・臨床から考える乾癬診療~患者さんの疑問や要望にこたえるヒントを見つけよう~】

座長:大槻 マミ太郎 (自治医大)
鳥居 秀嗣 (JCHO 東京山手メディカルセンター)

JP-1 乾癬の治療 overview
西田 絵美(名古屋市立大西部医療センター・乾癬治療ケアセンター)

JP-2 乾癬のメカニズム~これまでの知見と今後の展開~
中島 喜美子(高知大)

JP-3 乾癬の難治部位（頭、顔、爪、掌蹠、性器）の診断と治療をマスターしよう！
橋本 由起（東邦大）

共催：日本乾癬学会/ヤンセンファーマ株式会社

10:50～12:20 膿疱性乾癬（汎発型）（GPP）を対象とした学会認定教育プログラム（PIONEERS® GPP）

座長：鶴田 大輔（大阪公立大）
小宮根 真弓（自治医大）

GPP-1 皮膚病理からみた汎発性膿疱性乾癬の診断
杉田 和成（佐賀大）

ケースカンファレンス：GPP と類縁疾患の診断

パネリスト：本間 大（旭川医大）
古賀 浩嗣（久留米大）
阿部 名美子（東京医大）

共催：日本乾癬学会/日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社 医薬開発本部

13:40～15:40 日本乾癬学会・日本脊椎関節炎学会認定 乾癬性関節炎ハンズオン教育プログラム 第10回 OnPALETTE®セミナー

座長：奥山 隆平（信州大）
乾 健太郎（済生会中津病院整形外科）

OP-1 大久保 ゆかり（東京医大）

OP-2 猿渡 浩（猿渡ひふ科クリニック）

OP-3 乾 健太郎（済生会中津病院整形外科）

OP-4 神田 浩子（東京大免疫疾患治療センター）

共催：日本乾癬学会/日本脊椎関節炎学会/日本イーライリリー株式会社

16:00～17:30 乾癬・アトピー性皮膚炎の分子標的薬安全対策講習会【ビデオ上映】

講演 1 注意すべき副作用と安全対策
朝比奈 昭彦（東京慈恵会医大）

講演 2 生物学的製剤投与時に併発する呼吸器疾患、特に呼吸器感染症への対策
渡辺 彰（東北文化学園大医療福祉学部抗感染症薬開発研究部門）

講演 3 JAK 阻害内服薬使用上の注意点
安部 正敏（廣仁会札幌皮膚科クリニック）

座長:五十嵐 敦之 (いがらし皮膚科東五反田)

菅井 順一 (菅井皮膚科パークサイドクリニック)

- 8月25日(日)
プログラム
- 93 当院におけるデュークラバシチニブ投与患者 18 例についての臨床的検討
赤路 和哉、藤田 悠花、山下 千佳紗、東山 眞里、林 美沙
日本生命済生会日本生命病院
- 94 尋常性乾癬へのデュークラバシチニブ 4 年間の安全性と有効性: POETYK PSO-1/
2/LTE より
森田 明理¹、April W. Armstrong²、今福 信一³、Mark Lebwohl⁴、Kim A. Papp⁵、
Renata M. Kisa⁶、Matthew J. Colombo⁶、Eleni Vritzali⁶、Kim Hoyt⁶、
Subhashis Banerjee⁶、Diamant Thaci⁷、大槻 マミ太郎⁸
¹名古屋市立大、²University of California Los Angeles、³福岡大、⁴Icahn School of Medi-
cine at Mount Sinai、⁵Alliance Clinical Trials and Probity Medical Research, Water-
loo, and the University of Toronto、⁶プリストルマイヤーズスクイブ、⁷Univer-
sity of Lubeck、⁸自治医大
- 95 世界規模の実臨床下でのデュークラバシチニブの有効性比較に関するレジストリー研
究 (RePhlect)
今福 信一¹、多田 弥生²、森田 明理³、大槻 マミ太郎⁴、釣谷 克樹⁵、羽廣 克嘉⁵、
Joe Zhuo⁵、Renata M. Kisa⁵、Carolyn Daamen⁵、Stefan Varga⁵、April W. Armstrong⁶
¹福岡大、²帝京大、³名古屋市立大、⁴自治医大、⁵プリストルマイヤーズスクイブ、⁶Uni-
versity of California Los Angeles
- 96 Tyrosine kinase2 阻害薬 TAK-279 の乾癬性関節炎患者を対象とした第 IIb 相試験:
アンコール発表
谷越 奈保子¹、Alan Kivitz²、Elena Tomaselli Muensterman³、Arthur Kavanaugh⁴、
Désirée Van Der Heijde⁵、Piotr A Klimiuk⁶、Guillermo Valenzuela⁷、
Eva Dokoupilova⁸、Gabrielle Poirier⁹、Bhaskar Srivastava⁹、Sue Dasen⁹、
Xinyan Zhang⁹、Mona Trivedi³、Haoling Holly Weng¹⁰、Ting Hong³、Peter Pothula³、
Xenofon Baraliakos¹¹
¹武田薬品工業JMO、²アルトウーナ臨床研究センター、³米州タケダ開発センター、
⁴カリフォルニア大、⁵ライデン大医療センター、⁶ビャウイストク医大、⁷IRIS、
⁸マサリク大、⁹ニンバス社、¹⁰HWメドアドバイス社、¹¹ルール大
- 97 デュークラバシチニブ投与開始後に痤瘡と皮膚膿瘍を発症したアトピー性皮膚炎を合
併した尋常性乾癬の 1 例
坂井 博之、堀 仁子、桑原 史朗
市立旭川病院
- 98 デュークラバシチニブ内服後に発症した AGEP あるいは GPP が疑われた 1 例
須長 幸嗣、山田 達也、五明 美樹、片桐 一元
獨協医大埼玉医療センター

99 関節症性乾癬と全身性エリテマトーデスが合併し TYK2 阻害薬が両者に著効した 1 例
北野 佑、藤井 皓、伏田 奈津美、清水 恭子、大石 京介、濱口 儒人、松下 貴史
金沢大

10:25~11:30 一般演題 18 【掌蹠膿疱症 1】

座長:名嘉真 武國 (久留米大)
梅垣 知子 (東京女子医大足立医療センター)

- 100 好酸球性膿疱性毛包炎と掌蹠膿疱症を合併した 1 例
加藤 美和¹、山口 明彦²、速水 拓真²、高橋 聡文²、藤本 徳毅²
¹淡海医療センター、²滋賀医大
- 101 広範囲に掌蹠外皮疹を伴った掌蹠膿疱症の 1 例
松田 薫^{1,2}、吉田 傑¹、宮田 龍臣¹、小林 里実^{1,2}
¹東京女子医大、²聖母会聖母病院
- 102 掌蹠膿疱症に壊疽性膿皮症が合併した 2 例
白濱 稔大、大園 綾花、加来 洋、橋川 恵子、名嘉真 武國
久留米大
- 103 グセルクマブが有効であった掌蹠膿疱症性骨関節炎に伴う膝関節水腫の 1 例
井汲 菜摘、藤田 英樹
日本大
- 104 IL-23 阻害薬で尋常性乾癬寛解中に掌蹠膿疱症を発症した 1 例
十一 英子、西谷 恒星、山下 達也、辻花 光次郎
京都医療センター
- 105 皮膚 T 細胞リンパ腫患者に合併した掌蹠膿疱症にベキサロテンが奏功した 1 例
寺田 夏未¹、馬場 直子¹、相良 良子¹、島田 邦彦¹、米澤 理沙子¹、吉崎 愛²、
川平 尚生¹、指宿 敦子¹、東 裕子³、江川 形平¹
¹鹿児島大、²鹿児島県立大島病院、³鹿児島市立病院
- 106 掌蹠膿疱症性関節炎に対して JAK 阻害剤とメトトレキサートが著効した 1 例
辻 雄介¹、小松 広彦¹、宮本 樹里亜¹、石崎 純子¹、梅垣 知子¹、王 興榮²
¹東京女子医大足立医療センター、²西尾久リウマチ整形外科

12:30~13:30 ランチョンセミナー 7 【MOA から診る IL-17 製剤の位置づけ】

座長:今福 信一 (福岡大)
佐伯 秀久 (日本医大)

- LS7-1 トルツ®を使用すべき患者像～有効性・安全性・医療費の面から考える～
伊藤 宏太郎(伊藤皮膚科)
- LS7-2 乾癬治療において IL-17A を抑える意義
本田 哲也(浜松医大)

共催:日本イーライリリー株式会社

- 107 尋常性乾癬に対するイキセキズマブ治療中に尋常性天疱瘡を発症した 1 例
中村 瞳、増田 百音、面高 俊和、御子柴 飛鳥、奥山 隆平
信州大
- 108 イキセキズマブ投与中に水疱性類天疱瘡を発症した毛孔性紅色秕糠疹の 1 例
杉原 夏子、中野 尚美、鈴木 正之、前川 武雄、村田 哲、神谷 浩二、
大槻 マミ太郎、小宮根 真弓
自治医大
- 109 IL-23p19 阻害薬により治療した水疱性類天疱瘡合併乾癬の 2 例
菅井 奏良¹、高村 さおり¹、古賀 浩嗣²、石井 文人²、福田 知雄¹
¹埼玉医大総合医療センター、²久留米大
- 110 水疱性類天疱瘡を合併した掌蹠膿疱症の 1 例
高田 真衣、河野 奈央、廣田 菜々子、白居 駿也、中嶋 千紗、大塚 篤司
近畿大
- 111 膿疱性乾癬を疑った水疱性類天疱瘡の 1 例
倉田 麻衣子¹、下田 由莉江¹、水川 良子¹、大山 学¹、日野 治子²
¹杏林大、²赤坂虎の門クリニック

- 112 乾癬患者に対するイキセキズマブ治療における投与間隔及び前治療の影響：特定使用
成績調査 52 週時の結果より
鳥居 秀嗣¹、森田 明理²、照井 正³、山本 千詠⁴、董 加毅⁴、辻本 美嘉⁴、松尾 崇史⁴、
板倉 仁枝⁴、大槻 マミ太郎⁵、佐伯 秀久⁶
¹東京山手メディカルセンター、²名古屋市立大、³日本大総合科学研究所、
⁴日本イーライリリー株式会社、⁵自治医大、⁶日本医大
- 113 日本における乾癬患者に対するビメキズマブの費用効果分析
五十嵐 敦之¹、斎藤 翔太²、白石 浩一³
¹いがらし皮膚科東五反田、²クレコンメディカルアセスメント株式会社、
³ユーシービージャパン株式会社

- 114 尋常性乾癬における心血管炎症マーカーに対するビメキシマブの影響：2つの第3相比較試験成績
浅野 善英¹、Richard B. Warren²、Richard G. Langley³、Georgios Kokolakis⁴、Brian Kirby⁵、James G. Krueger⁶、Kilian Eyerich⁷、Leah Davis⁸、Owen Davies⁸、Nancy Cross⁸、Delphine Deherder⁸、Bruce Strober^{9,10}
¹東北大、²Manchester University NHS Foundation Trust, Manchester Academic Health Science Centre, UK、³Dalhousie University, Halifax, Canada、⁴Psoriasis RCharite-Universitätsmedizin Berlin, corporate member of Freie Universität Berlin and Humboldt-Universität zu Berlin, Berlin, Germany、⁵University College Dublin, Republic of Ireland、⁶The Rockefeller University, New York, USA、⁷University of Freiburg, Freiburg, Germany、⁸UCB Pharma, Brussels, Belgium、⁹Yale University, New Haven, USA、¹⁰Central Connecticut Dermatology Research, Cromwell, Connecticut, USA
- 115 当科におけるIL-17、IL-23阻害薬の有効性と継続率
古谷野 美弥、百瀬 まみ、梅澤 慶紀、朝比奈 昭彦
東京慈恵会医大
- 116 名古屋市立大学病院における乾癬の生物学的製剤とアプレミラストの各製剤の長期有効性の評価
櫻井 麻衣、山本 礼、渡邊 大起、榎本 由季、金山 佳史、森田 明理
名古屋市立大
- 117 名古屋市立大学病院における乾癬に対する生物学的製剤およびアプレミラストの継続率の検討
山本 礼、榎本 由季、渡邊 大起、金山 佳史、櫻井 麻衣、森田 明理
名古屋市立大
- 118 乾癬患者における生物学的製剤のクラス内/クラス間スイッチに関する二施設共同後方視的観察研究結果の報告
高橋 ちあき¹、橋本 由起²、雁金 詩子¹、田原 海¹、福田 桂太郎^{1,3}、梅垣 知子^{1,3}、種瀬 啓士²、石河 晃²、足立 剛也^{1,3}
¹慶應義塾大、²東邦大、³慶應義塾大病院免疫統括医療センター

16:00~18:00 みんなで語ろう乾癬について in 大阪 2024~全国学習懇談会~

E 会場

8:00~9:00 モーニングセミナー 2

座長：岩田 浩明（岐阜大）

MS2 抗TNF- α 抗体療法が乾癬の病態に果たす役割と医工連携研究を用いた当科の挑戦
吉崎 歩（東京大臨床カンナビノイド学講座）

共催：田辺三菱製薬株式会社

座長: 森脇 真一 (大阪医科薬科大)
天野 博雄 (岩手医大)

- 119 ビメキズマブからグセルクマブのバイオスイッチで軽快した乾癬の1例
黒木 千晶、辻 学、冬野 洋子、中原 剛士
九州大病院
- 120 IL-23 阻害剤による皮膚真菌叢変化
小池 雄太^{1,2}、楯塚 さやか¹、元岡 大佑³、室田 浩之^{1,2}
¹長崎大、
²長崎大大学院医歯薬学総合研究科ライフサイエンス・イノベーション研究ユニット、
³大阪大微生物病研究所遺伝情報実験センターゲノム解析室
- 121 乾癬患者に対するグセルクマブ治療における末梢血・皮疹血の制御性T細胞及びレジ
デントメモリーT細胞の解析
金山 佳史¹、渡邊 大起¹、櫻井 麻衣¹、榎本 由季¹、山本 礼¹、増子 峻矢²、
増田 潤哉²、杉浦 由加子²、宮代 昌彦²、森田 明理¹
¹名古屋市立大、²ヤンセンファーマ株式会社
- 122 グセルクマブの乾癬に対する特定使用成績調査: 52 週の結果報告
多田 弥生¹、杉浦 由加子²、神島 愛未²、田中 義人²、増田 潤哉²、山中 恵一³
¹帝京大、²ヤンセンファーマ株式会社、³三重大
- 123 チルドラキズマブを投与した乾癬患者 20 例の検討
南 百合菜¹、柴田 知之¹、大谷 愛美²、渡辺 大輔¹
¹愛知医大、²総合大雄会病院
- 124 実臨床における尋常性乾癬に対するチルドラキズマブの有効性、安全性の検討
吉岡 和佳子、渡部 大輔、後藤 真紀、濱端 明海、角田 加奈子、天野 博雄
岩手医大
- 125 実臨床下で生物学的製剤により治療中の乾癬患者における血中抗薬物抗体に関する検討
野崎 尋意¹、本間 大²、岸部 麻里¹
¹旭川医大、²旭川医大国際交流推進センター

座長: 金蔵 拓郎 (鹿児島大)
浅田 秀夫 (奈良県立医大)

- 126 西日本乾癬レジストリ 2022 年追跡調査集計結果
鶴田 紀子^{1,3}、今福 信一^{2,3}
¹北九州市立八幡病院、²福岡大、³西日本炎症性皮膚疾患研究会
- 127 西日本乾癬レジストリ(WJPR)から示された乾癬患者の治療継続率 2024 アップデート
柳瀬 哲至^{1,4}、鶴田 紀子^{2,4}、今福 信一^{3,4}
¹紙屋町やなせ皮膚科クリニック、²北九州市立八幡病院、³福岡大、
⁴西日本炎症性皮膚疾患研究会

128 皮膚病変が限局する尋常性乾癬における全身療法適応患者の検討(Delphi consensus in Japan)
森田 明理¹、大久保 ゆかり²、今福 信一³、多田 弥生⁴、安部 正敏⁵、大槻 マミ太郎⁶
¹名古屋市立大、²東京医大、³福岡大、⁴帝京大、⁵札幌皮膚科クリニック、⁶自治医大

129 全身療法中の乾癬患者における皮膚感染症についての検討
東 裕子^{1,2,6}、今福 信一^{3,6}、鶴田 紀子^{4,6}、室谷 健太⁵
¹鹿児島大、²鹿児島市立病院、³福岡大、⁴北九州市立八幡病院、
⁵久留米大バイオ統計センター、⁶西日本炎症性皮膚疾患研究会

130 開業医診療情報データベースを用いた尋常性乾癬の治療実態調査 (DEFENDER study)
安部 正敏¹、伊藤 寿啓²、島田 辰彦³、菅井 順一⁴、津田 雄一郎⁵、東山 眞里⁶
¹医療法人社団廣仁会、²東京慈恵会医大、³島田ひふ科、
⁴菅井皮膚科パークサイドクリニック、
⁵レオファーマ株式会社メディカルアフェアーズ部、⁶日本生命病院

131 開業医診療情報データベースを用いた実臨床における Cal/BDP 配合薬フォーム剤の臨床評価 (DEFENDER study)
東山 眞里¹、安部 正敏²、伊藤 寿啓³、島田 辰彦⁴、津田 雄一郎⁵、菅井 順一⁶
¹日本生命病院、²医療法人社団廣仁会、³東京慈恵会医大、⁴島田ひふ科、
⁵レオファーマ株式会社メディカルアフェアーズ部、
⁶菅井皮膚科パークサイドクリニック

12:30~13:30 ランチョンセミナー 8 【乾癬治療における PDE4 阻害薬の意義】

座長:東山 眞里 (日本生命病院)

LS8-1 乾癬全身療法の最適解~アプレミラストの活かし方~
萩野 哲平(日本医大千葉北総病院)

LS8-2 乾癬全身療法の導入~今、アプレミラストの利点を考える~
安田 正人(群馬大)

共催:アムジェン株式会社

13:40~14:45 一般演題 23 【掌蹠膿疱症 2】

座長:鈴木 民夫 (山形大)

村上 正基 (あつた皮ふ科クリニック)

132 扁桃摘出術を施行した掌蹠膿疱症 9 症例の検討
浅川 理子¹、岡本 崇¹、薬袋 里彩¹、田淵 亜希子¹、石井 裕貴²、島田 眞路¹、
川村 龍吉¹
¹山梨大、²山梨大耳鼻咽喉科

133 生物学的製剤を使用した掌蹠膿疱症 6 例の臨床的検討
弓場 千晶、丸山 彩乃、中西 麻理、中江 真、在田 貴裕、益田 浩司
京都府立医大

- 134 当科における掌蹠膿疱症と掌蹠膿疱症性骨関節炎に対する生物学的製剤治療の臨床的検討
小林 里実¹、石原 陽子¹、平山 愛里彩¹、松田 薫¹、小林 亜里²、戸邊 公子³、八尾 由紀³、中川 秀樹⁴
¹聖母病院、²聖母病院整形外科、³聖母病院放射線科、⁴聖母病院耳鼻咽喉科
- 135 名古屋市立大学における掌蹠膿疱症患者に対する光線療法のみまとめ
渡邊 大起、榎本 由季、櫻井 麻衣、山本 礼、森田 明理
名古屋市立大
- 136 当科において過去 19 年間に経験した掌蹠膿疱症：単施設における検討から見えてくる本邦患者の特徴
佐藤 真由、遠藤 麻衣、平岩 朋子、山本 俊幸
福島県立医大
- 137 2023 年 日本乾癬学会・掌蹠膿疱症疫学調査のみまとめ 1 患者背景と臨床所見から見えてくること
阿部 名美子¹、西田 絵美²、谷崎 英昭³、名嘉真 武國⁴、藤本 徳毅⁵、渡辺 大輔⁶、山本 俊幸⁷、森田 明理⁸、大久保 ゆかり¹
¹東京医大、²名古屋市立大西部医療センター、³関西医大、⁴久留米大、⁵滋賀医大、⁶愛知医大、⁷福島県立医大、⁸名古屋市立大
- 138 2023 年 日本乾癬学会・掌蹠膿疱症疫学調査のみまとめ 2 病巣感染、併存症と治療について
西田 絵美¹、山本 俊幸²、谷崎 英昭³、名嘉真 武國^{3,4}、藤本 徳毅⁵、渡辺 大輔⁶、森田 明理⁷、大久保 ゆかり⁸
¹名古屋市立大西部医療センター、²福島県立医大、³関西医大、⁴久留米大、⁵滋賀医大、⁶愛知医大、⁷名古屋市立大、⁸東京医大

16:00~18:00 掌蹠膿疱症患者会 PPP コミュニティによる患者会
